



週報

Weekly Report

RI テーマ
ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

2013-2014 年度国際ロータリー会長 ロン・パートン

例会日 / 毎週月曜日 12:30 ~ 13:30

例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)

会長 / 野口泰則 幹事 / 今村浩昭 クラブ広報委員長 / 丸山浩之

www.kumamoto-southrc.org

第9回例会記録(通算第 2577 回)

平成 25(2013)年9月9日

斉唱 国歌 君が代

ロータリーソング「それでこそロータリー」

来訪者紹介

女性の会	馬場 桂子様	淵田 美恵子様
	堀川 光江様	倉崎 輝 様
	杉田 成様	園田 美香様・拓土君
	高宮 恵美様	

米山奨学生 ンダギジマナ・ジャスティン君

寿崎奨学生 劉 曉慈君 吳 海燕君

熊本南RAC 富永 藍香君 山田 佳澄君

大河 正和君 西見 隆宏君

村上 慶輔君 新宅 亮介君

会長報告 (野口泰則君)

本日「重陽の節句」に、大きな悦びとともに節目となる素晴らしき本会を迎えましたことに心から感謝いたしております。熊本南ロータリークラブ創立 55 周年おめでとうございます。55 年間の歴史と伝統ある熊本南ロータリークラブの在る意味は、他クラブの例会へ参加させていただいた際に解ります。どのクラブにあられましても誠に敬意を払ってくださり、そのたびに讃嘆の念を抱いております。創立 55 周年の記念例会となる本会の出席に関しまして、私の中では出席率 100%を成しております。なぜなら不本意ながらも出席できない全ての会員から連絡がございました。その時の会話の中で「ずっと熊本南ロータリークラブの会員で在りたい」という言葉もございました。皆熊本南ロータリークラブを愛しています。そして、当クラブを愛する想いは、全ての会員へ連帯されているものと

国際ロータリー第 2720 地区 **熊本南ロータリークラブ**
Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club



9/9 創立 55 周年記念例会が行われました。

今日の例会

- 今日の歌
- 来訪者紹介
- 会長・幹事・各委員会報告
- 親月例会

今月・来月の行事

- 10/12-13 RAC 年次大会@人吉
- 10/19-20 第12回日韓親善会議 @ソウル
- 10/22 第2回熊本市域 RC 会長・幹事会@メルパルク
- 10/25 第5回熊本中央 RC ゴルフコンペ@チサンカントリー御船

感じております。熊本南ロータリークラブの伝統は、55 年という長い年月をかけて、会員一人ひとりから注がれた当クラブへの高貴な愛の積み重ねにより形成されたものと考えております。この後、50 周年以降にお亡くなりになられた会員への黙祷がございます。島村研理・永野光哉・大住正敏・菅敏郎・鐘泉・中川和・渡辺一正(敬称略)以上、7 名の尊き皆様です。熊本南ロータリークラブの伝統と歴史は、物故会員の「今」が積み重なってつくられたものと申し上げても大袈裟ではないと思いますし、会員の皆様も同様にそう思っていることなのでしょう。ですから、熊本南ロータリークラブの例会が「今ここに在る」ということは、物故会員の皆様も「今この例会場に居る」と考えて良いと思います。これからの未来へもロータリアンの精神が、熊本南ロータリークラブの歴史と伝統が、永遠に継承されていくことを切に願うとともに、物故会員へ深く感謝し黙祷を捧げたいと思います。

幹事報告 (今村浩昭君)

- ガバナー事務所より 2012~13 年度地区資金監査報告が届いております。
- ガバナー事務所より「第 12 回ロータリー全国囲碁大会」のご案内が届いております。

3. 9/30 例会は観月会例会となり、18:30～7F ガーデンバンケットにて行います。ご注意ください。

出席報告(永井富士雄君)			
会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
58名	43名	78.18%	84.91%
出席規定適用免除者 6名		欠席記録免除者 0名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

委員会報告

●R 情報委員会 (漆島典和君)

1907年、ポール・ハリスはシカゴ・クラブの第3代会長に自分から進んでなる。親睦と相互扶助に耽溺しているシカゴ・クラブに、対社会的な意義を自覚させようとするのである。例会毎にそれを説きつづけ、自分は独裁者の如く振舞ったと後年述懐している。ポールのこの振る舞いによって、当時100人ぐらい居た会員が半数ちかく欠席するようになってしまった。クラブ役員のドクター・ネフは、この状態がもう1ヶ月も続けばシカゴ・クラブはおかしくなってしまうと心配して、役員でありクラブ歌手でもあったハリー・ラグルスに歌を唄ってもらって、会員の気分を引き立てようとした。ついにはポールが演壇に歩き始めると、それとばかりに全員に合唱させて演説を中断させるようになった。翌1908年、ポール・ハリスは強引にもう一期会長をやることにした。丁度その年の1月に2人の新入会員が入ってきた。アーサー・フレデリック・シェルドンとチェスレイ・ベリーである。その頃ポールはアメリカの主要都市に、ロータリークラブを拡大していく仕事にとりかかっていた。文通によって大学時代の級友や、5年間の放浪生活で知り合った友人たちとクラブ設立の話を進めていた。先程の著書の中で“残念なことにはシカゴ・クラブの仲間のロータリアンの殆どが、私の抱く世界のロータリーという夢を受け入れようとはしなかった。自分の望みを理解してくれない友人達の無表情な態度に接する程情けないことはない。間もなく私は、物事を行うには自分でやるのが一番いい方法だと悟ったのであった。それはもう長い、時にはとても苦しい仕事であって、頭痛心痛のひどい時もあった。”と述べている。そこへ2人の新入会員が、天の恵みの如くポールの戦列に加わったのである。シェルドンは売買契約というものは、両当事者が共に利益を得るものでなければ正しいものとは言えないという理論に基づいて、セールスマン養成学校を創設していたので、英語の通用する所ならばどこへ行っても大抵シェルドンの生徒たちが居た。正に宣伝拡大にうってつけの人であった。

●スマイルボックス(三角雄介君)

○女性の会

創立55周年おめでとうございます。熊本南ロータリークラブの益々のご発展と、会員の皆様のそれぞれのお仕事でのご活躍あ

わせてご健勝をお祈り致します。本日は記念例会にお招き頂きありがとうございました。感謝を込めて。

○野口泰則君 X

熊本南ロータリークラブ創立55周年おめでとうございます。こんな素晴らしい友情に満ち溢れたロータリー家族の中で、栄光の55周年の会長であることを心より感謝スマイルします。熊本のNo.1を本気で目指します。会員倍増の奉仕全員参加。

○堀川貴史君・今村浩昭君・田川憲生君・藤見泰之君・坂本幸樹君

女性の会の皆様・RACの皆様のご来訪を心より歓迎申し上げます。本日の創立55周年記念例会をお楽しみくださいましたら幸いです。

○三角雄介君

本日の創立55周年記念は非常におめでたいことですが、本日は私の父の誕生日でもあります。父は10年上の65周年です。

50周年以降パスト会長リレー挨拶

・塚本 侃パスト会長



2008～09年度(平成20～21年度)は熊本南ロータリークラブ創立50周年という節目の年にあたる年度でした。創立50周年記念式典は野田実行委員長、堀川副委員長の

下で会員全員が参加していますが、これまでの記念式典と異なり、記念講演を行わずに当ロータリークラブの社会奉仕活動である「タイプロジェクト浄水施設設置」について来賓を始め参加者の皆様に紹介し、大変感動して頂きました。しかも、この創立50周年記念式典の準備の中で、どういう形で記念式典を行おうかと会員全員で協議を行い「融和、そして未来へー」というスローガンを決めて、未来に向かっては「10ヵ年ビジョン」を策定しました。次に、当初は予定されていなかったのですが杉谷ガバナーが前年度に引き続きガバナーに就任されたこととの関係で、同ガバナーの出身クラブである玉名ロータリークラブのスポンサークラブという関係から当ロータリークラブが地区大会のホストクラブを担当することになりました。準備期間が当ロータリークラブの創立50周年記念式典終了後約5ヶ月という短い期間で、しかも大会期間が1日という、2720地区では初めての地区大会のホストクラブを引き受けたのですが、淵田実行委員長・際田幹事や会員の皆様のご協力で地区大会も無事終了致しました。この様に1年間に創立50周年記念式典と地区大会という大きなイベントを2つ行うことは大変なことでしたが、当ロータリークラブの実力を広く知らしめた良い機会でした。クラブ運営については、各委員会の委員長及び委員の選任について、事業の継続性を念頭に置いて選任することが出来ました。また会計については、クラブの運営費を対象とする一般会計と奉仕活動を対象とするスマイル会計を区別し、それぞれについて銀行口座も分け、月次毎に前月までの累計額と当月分および当月時点での予算残高を理事会で会計報告をするようにしました。併せて、毎月の支出についても支払表を事前に事務局から報告してもらいチェックするという

体制も完成しました。そして奉仕活動については「タイププロジェクト
浄水施設設置」と中学生のバドミントン大会の開催という2つのプロ
グラムを実行しております。最後に会員増強については、10名の
退会が2年間続いていましたが、5名の退会に停めることができ、6
名入会して頂きましたので、純増1名を確保することができました。

・瀧田俊郎 会長



活発でいて様々なアイデアが会
員の皆様から提案されたのを憶えて
おります。ご提案いただいたアイデ
アの実現へ向けて取り組む年度で
ございました。更に創立50周年記念が
切っ掛けとなり新会員の入会も多くありまして、ベテラン会員と新し
い会員一人ひとりの意識の高さと共にクラブ内の結束を堅く強く感
じた年度でもございました。その勢いを保ったまま地区大会も無事
に終わることができ、思い返せば、とても楽をさせて頂いた会長だっ
たなあと感じております。楽しきクラブ活動と思い返せる会長年度を
務めさせて頂きました。

・久峨章義 会長



まだ幼い頃からお世話になって
いる先輩方々から常々熊本南ロータ
リークラブのことを聞かされてお
り、いつの日かはクラブへ入るものな
だと思っておりました。そして、入会
して15年目に会長を務めることとなり
ました。ロータリーの精神はアイ
サーブなのですが、たまには会員皆
なで力を合わせ協力し、一つ
ひとつ事業を成し遂げていくウイ
サーブも行なっても良いのでは、と
の考えもありまして、会員の結
束により様々な慈善活動を行ない
ました。大変楽しくやりがいがある
事業であったと思っています。反面、
残念なことに退会者が多い年度
でもあり、創立50周年の際に掲
げられた会員150名を目標とす
ることへのプレッシャーを感じつ
つ、会員維持増強の必要性を実
感した年度でありました。弱小
クラブとならないようにと、会
員増強の想いは今も胸にござ
いまして、これから60周年、
65周年、70周年と続いていく
熊本南ロータリークラブの未
来のためにも一人ひとりが連
帯し協力して仲間を増やして
いくことは必要だと思います。
そして、野田ガバナーノミ
ニーの推薦が臨時総会で決
定いたしました。この経験が、
新しい会員の皆さんへもロ
ータリアンの精神を培う良
き経験になっていくことと思
います。

・堀川貴史 会長



RI カルヤン・パネルジー会長
RI テーマ
「こころの中を見つめよう、博愛を
広げるために」

2011～2012 年度 RI 第 2720 地区本田光曠ガバナー
地区スローガン【心機一転】
熊本南ロータリークラブ会長方針
クラブテーマ「奉仕(親睦)活動に参加しよう」

強調事項

1. 10 ヵ年ビジョン進捗の見える化
2. 会員家族、ロータリー家族、地域社会との協調
 - ①家族会(親睦委員会)
 - ②熊本城マラソンボランティア(社会奉仕)
 - ③オハイエくまもと楽器贈呈支援活動(社会奉仕)
 - ④家族清掃(新世代、RAC、社会奉仕、クラブ広報)
 - ⑤IAC 募金、ヒロデザインコンテスト支援(IAC、新世代)
3. 各委員会活動の強化と長期計画作成
 - 職場訪問、本音で語る企業経営の会①②(職業奉仕)
 - スマイル委員会
 - スマイル金額 180 万突破！
 - ・ベストスマイル賞(2 回)
 - ロータリー情報委員会
 - ・インフォメーション 4 回 ・新入会員懇談会
 - クラブ広報・・・HP 改編、イベントジャンパー製作
 - 雑誌・・・ロータリーの友紹介
 - 出席・・・メイクフレンズ 2 回(西南 RC・西 RC)
 - プログラム
 - ・2500 回例会・幸山市長卓話
 - ・外部卓話・先輩方のお話・新入会員卓話
 - 国際奉仕・・・タイププロジェクト継続中(4 年目)
 - 姉妹クラブ・・・次年度の青少年交換事業準備
 - R 寿崎奨学会・・・6 名(1 名ローターアクト入会)
 - 米山奨学会・・・卓話の提供
 - ロータリー財団・・・オハイエ支援の地区補助金手配
 - 新世代・・・新世代プロジェクト立上げ準備

4. 女性の会の皆様に例会へ招待

- ①2011 年 11 月 7 日通算 2500 回例会
- ②2012 年 5 月 7 日 幸山熊本市長卓話

東日本大震災からの復興元年としてのスタートを切った 2011
～2012 年度。熊本南ロータリークラブは大住副会長を期の途中
で失うという不幸に見舞われたが、後任に田邊副会長にご就任
頂き、野口幹事・坂本研・三角両副幹事、その他、理事役員の
皆様方、なによりも会員の皆様方にささえられて何とか 1 年を終
えることができました。

・浅山弘康 会長代理(漆島典和君)



浅山弘康 会長代理が都合に
より欠席でございますので、代理
でご挨拶させていただきます。年度中、
事務局員が突然辞めるという緊
急事態がございましたが、会員の
皆様、また古財会員・園田会員の奥様のご協力により、何とか乗
り切ることが出来た年度でございました。改めてお礼申し上げます。
ありがとうございます。

10 ヶ年ビジョンの説明と抱負（野田三郎君）

1. 熊本南ロータリークラブは、10年後に会員数150名を目指して魅力あるクラブづくりに努めます
2. 10 ヶ年ビジョンコンセプトは、創立50周年スローガンである「融和、そして未来へ。」とします
3. 10 ヶ年ビジョンの方針は、親睦と奉仕の両立を図り、思いやり的心をもって社会に貢献できるクラブ活動を行い、変化する社会ニーズに対応できるようクラブ運営に努めます
4. 各委員活動
 - * 職業奉仕委員会
 - ・ 本音で話す職業奉仕の勉強会開催
 - * 社会奉仕委員会
 - ・ 生活環境分野への活動の研究
 - ・ 自然環境分野への活動の研究
 - ・ 福祉分野への活動の研究
 - * 新世代奉仕委員会
 - ・ IAC、RACとの連携
 - ・ 地域社会の新世代教育への活動の研究
 - * 国際奉仕委員会
 - ・ タイプロジェクト事業として、浄水設備設置工事から里親制度そしてフェアトレードの研究
 - ・ 台北大同扶輪社との共同プロジェクトの研究
 - * クラブ管理運営委員会
 - ・ 親睦と奉仕の両立を図る
5. 以上を基本にクラブ活動を行い、その結果としてロータリー指導者の育成を図り、CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）の運用を行います

●懇親会(19:30～)

野田三郎ガバナーノミニー候補挨拶



先週の臨時総会におきましてガバナーノミニーの御推薦をいただきました。未だ候補の状態ですが、決定いたしましたらその務めを精一杯頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。熊本南ロータリークラブの設立は昭和33年9月1日でございます。当時は戦後の混乱期を抜け、もはや戦後ではない。という時代背景でございました。その様な時代、クラブ設立当時の先輩会員から同志に向けられたロータリアンへの様々な御意見がございます。いくつかご紹介させていただきます。ロータリアンへの批判をよく聞くようになりました。常にお互いに自粛自戒し特別の存在視もされることなく、社会生活一般の中のひとりの奉仕会員だと見られる様にならなければならない。ロータリーという有望な会員とは社会的地位や企業や財力の大きさではなくして、人柄の良さや行動力に富んだ人であり、ロータリアンは傍観者ではなく行動者でなければならないと信じております。ロータリー活動の大切さは申すまでもなく、周囲の皆様と仲良くし、自身の能力で世の中のお役に立つように努力することにある訳ですが、その反面、ロータリークラブからいただく恩恵の

余りの大きさに驚いております。私達はロータリークラブによって教えられ養われた奉仕の理想をお互いの職場や地域において顕現しなければならないと思う、個々の職場や地域において奉仕活動の第一線者と成り明るい社会への建設に努力する必要があるのではないかと。以上、ご紹介した様な御意見、お気持ちを設立当時の先輩会員はお持ちでいらっしゃいました。そして、その志からの活動の結果として地域社会において熊本南ロータリークラブのステータスは高まり、大きな実績をつくっていただいた時代がございました。さて、設立当時から50年が経ち、時代は大きく様変わりしてまいりました。高度成長期は終わり、不況、社会問題、経済問題、国際問題など様々な問題を抱える時代となっております。その様な状況(時代背景)の中で、熊本南ロータリークラブは創立50周年を迎えました。その時につくり出したのが「10 ヶ年ビジョン」です。「融和、そして未来へ。」というスローガンのもと、併せましてシンボルマークを製作いたしました。シンボルマークのデザインは、入会歴の長いベテラン会員と入会歴の短い新しい会員を表現した二つの輪から成っております。二つの輪が交わり重なり合う部分は、親睦と奉仕活動を通してお互いの融和を図り共に未来へと向かい伸びていく・・・という意味をもちしております。即ち熊本南ロータリークラブの芽生え伸びゆく希望を表しております。10年先はどのような活動をしているか？をイメージしたものが「10 ヶ年ビジョン」でございます。つくりましてから5年経ちましたが、これからも思いやる心を以て魅力あるクラブづくりをやっていきたいと考えております。熊本南ロータリークラブが存続し発展していくためには、財力といった豊富な資金や、時代に合わせた新しい奉仕活動だけでは難しいと考えています。個々それぞれ一人ひとりが熊本南ロータリークラブの歴史と伝統を踏まえ、クラブに相応しい人材として成すべき活動を行うこと。人材こそがクラブの存続、発展において一番大事なことだと思っています。ベテラン会員から新しい会員へ。相応しい人材が、相応しい人材へと導き「ロータリアンの精神」を繋ぎ、地域社会そして、時代へと繋いでいく。その考え方の原点こそ「ロータリー綱領」へ凝縮され集約されております。

乾杯の挨拶（寿崎肇 PG）

熊本南ロータリークラブ初代2代会長を務めました深水会長の時より、代々素晴らしい会長・幹事にそれと錚々たる会員の方々日々、月々、年々に奉仕の誠を積み重ねた55年でした。先輩方に心から御礼申し上げるものでございます。昔から熊本南ロータリークラブは地区委員を最も多く輩出し、第2720地区に大変貢献したクラブでした。ロータリーは教えです。創立55周年を契機として、ご自分のお仕事にロータリーの教え、つまり基本の徹底を図り、お客様から喜んで頂くよう見直しては如何でしょうか。もう一つは創立50周年で会員150名を目指すことを打ち出しました。再来年からガバナーをなさる野田三郎会員が当時の実行委員長でした。熊本南ロータリークラブをあげて会員増で地区のトップに作り上げ、野田ガバナーの名誉を押し上げようではありませんか。会員皆様お元気で、奉仕に邁進し皆様から感謝されるクラブになろうではありませんか。